

更なる地域連携を目指して



院長 増田 公人

新年あけましておめでとうございませう。昨年の診療報酬改定で病院にとっては厳しい条件が突きつけられましたが、高齢化社会においてはどのように対応すべきか日本の今後の医療の方向性も示されたと思っております。

例年のごとく医療費削減については医療界の閉塞感を感じさ

褥瘡の発生予防への取り組み



褥瘡(じよくそう)は、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫がかかることにより、血流が悪くなり、皮膚組織の酸素不足、栄養不足が引き起こされて壊死を引き起こすものです。特に骨が突き出ている部位(仙骨部や踵)に出来やすく、さまざま要因が複雑に絡み合っ

① 体圧分散式マットレスの使用
② クッションを利用するの良
褥瘡(じよくそう)は、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫がかかることにより、血流が悪くなり、皮膚組織の酸素不足、栄養不足が引き起こされて壊死を引き起こすものです。特に骨が突き出ている部位(仙骨部や踵)に出来やすく、さまざま要因が複雑に絡み合っ

③ 姿勢の保持
姿勢の保持
褥瘡(じよくそう)は、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫がかかることにより、血流が悪くなり、皮膚組織の酸素不足、栄養不足が引き起こされて壊死を引き起こすものです。特に骨が突き出ている部位(仙骨部や踵)に出来やすく、さまざま要因が複雑に絡み合っ

褥瘡(じよくそう)は、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫がかかることにより、血流が悪くなり、皮膚組織の酸素不足、栄養不足が引き起こされて壊死を引き起こすものです。特に骨が突き出ている部位(仙骨部や踵)に出来やすく、さまざま要因が複雑に絡み合っ

褥瘡(じよくそう)は、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫がかかることにより、血流が悪くなり、皮膚組織の酸素不足、栄養不足が引き起こされて壊死を引き起こすものです。特に骨が突き出ている部位(仙骨部や踵)に出来やすく、さまざま要因が複雑に絡み合っ

褥瘡(じよくそう)は、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫がかかることにより、血流が悪くなり、皮膚組織の酸素不足、栄養不足が引き起こされて壊死を引き起こすものです。特に骨が突き出ている部位(仙骨部や踵)に出来やすく、さまざま要因が複雑に絡み合っ

と、高齢者が特に多いこの地域において、法人内では、地域包括ケアシステム、らしき事は以前より行っていました。今更なる地域連携を進める必要があり、昨年より定期的に会議を行う事で、患者様、ご家族と情報共有を図ってまいりました。このように連携をより一層拡大して進める必要があると考え、今年から「吹田市地域ケア会議」にも参加させて頂く事になりました。

超高齢化社会では、診療部門において必ずしも専門性を求め

られるだけでなく、むしろ総合診療的なものが求められると考えています。救急の速やかな受け入れから始まり、急性期の入院治療後、必要に応じて回復期リハを行うと同時に在宅復帰支援を行うという従来から協和会病院が行ってきた事が、今後一部の病棟で計画しております。「地域包括ケア病棟」の役割であり、必ず地域に貢献できるものと確信しています。

今年、「より質の高い医療を提供すること」を病院目標としており、①電子カルテ導入、②消化器センター新設、③外来・病棟のアメニティ改善工事に取り組みたいと考えておりますので、今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年、「より質の高い医療を提供すること」を病院目標としており、①電子カルテ導入、②消化器センター新設、③外来・病棟のアメニティ改善工事に取り組みたいと考えておりますので、今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ブーメラックッション ウェーブクッション



褥瘡(じよくそう)は、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫がかかることにより、血流が悪くなり、皮膚組織の酸素不足、栄養不足が引き起こされて壊死を引き起こすものです。特に骨が突き出ている部位(仙骨部や踵)に出来やすく、さまざま要因が複雑に絡み合っ

新入ドクター紹介



石坂 透

専門科 循環器科
出身地 石川県
趣味 読書、犬の散歩
特技 以前は長距離走が得意でしたが…また走ろかなあ

患者さんへ一言 循環器(心臓、脳、肺、血管の病気)および生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症、通風など)を専門にしていますが、「木を見て森を観ず」にならないよう、患者様を全人的に診ることを心がけています。胸が痛い、重苦しい、息が切れる、動悸がする、手足がむくむ、めまい、失神、手足のしびれ・いたみ、下肢の静脈瘤(血管が浮き出る)、こむら返りなどの症状でお困りのかた、どうぞ御気軽にご相談ください。
医学の世界は日進月歩です。日々研鑽につとめて、患者様のご健康の回復と維持に少しでも貢献できればと願っております。



藤本 洋和

専門科 一般内科・消化器内科
出身地 宮崎県
趣味 楽しいお酒を飲むこと
特技 いっぱいお酒を飲むこと

患者さんへ一言 10月より勤務させていただいております。消化器内科・内視鏡(胃カメラ・大腸カメラ)を中心に内科一般を診療させていただいております。明るい診療を心がけており、皆様に信頼していただけるようがんばって行きたいと思っております。体調不良やお体の心配な所等ありましたらお気軽に御相談して頂ければと思います。私事ですが、少し前に不摂生のため生活習慣病のほとんどを抱えてしまいました。いろいろ節制したところ現在改善できており、日々の生活に気を付けていくことの大切さを痛感いたしました。皆様もお酒の飲み過ぎ・食べ過ぎにはくれぐれも気を付けましょう。

褥瘡(じよくそう)は、一般的には「床ずれ」と呼ばれるものです。皮膚の同じ部分に長時間自分の体重による圧迫がかかることにより、血流が悪くなり、皮膚組織の酸素不足、栄養不足が引き起こされて壊死を引き起こすものです。特に骨が突き出ている部位(仙骨部や踵)に出来やすく、さまざま要因が複雑に絡み合っ

理学療法科
杉田智世・山田大智

自 助 具 知 っ て い ま す か ! ?



和の場

食べやすくなりました



箸



ソックスエイド

病気や加齢により身体に何らかの障がいをお持ちの方の自立や介護する方の負担を減らす役割をもつ道具として、福祉用具というものがあります。その中でも、日常生活に密着したもので、日常生活動作をより便利に、より容易に出来るように工夫された道具が自助具です。今回は自助具について、少し紹介をさせて頂きたいと思います。

自助具を使用する場面は、「利き手が動きにくくて、お箸で食べにくい」という状況の場合、写真にあるようなお箸を使用します。すると、食べにくかったものがお箸を使用して、食べやすくなります。他にも「体を屈めると腰が痛くて靴下が履けない」方にはソックスエイドという自助具を使用する事で普段手伝ってもらっていた靴下の着脱が一人でできるようになり、自立した生活を助ける事ができます。

これらの自助具は作業療法室に見本があります。自助具の使用は利用者の体に合わせる必要がありますので一度、作業療法士をお尋ねください！
(作業療法科リーダー 角倉 稔基)

介護講座のお知らせ

テーマ **認知症について
学びませんか？**
～認知症サポーター養成講座～

日時 **平成27年2月21日(土)**
13時00分～14時30分

場所 **ウエルハウス協和 6階会議室**

講師 **ウエルハウス協和 作業療法士 西尾 由美**
介護福祉士 **北 真澄**

※尚、認知症サポーター養成講座として開催致します。認知症について学びたい方のご参加をお待ちしております。



中学2年生の職場体験を受け入れて

毎年9月～11月にかけて、吹田市内の中学校から「職場体験」の依頼を受けます。

今年度は、7校より医療の現場に興味がある中学2年生13名が当院で体験学習をしました。2日間のうち、1日は看護師のユニホームを着て、患者様とのかかわりに挑戦してもらいます。看護師のそばについて、血圧測定やナースコールの対応、食事介助や入浴介助の手伝いを通して、仕事をやる厳しさや喜びを感じてもらいました。2日目は、薬剤科とリハビリ科に協力いただき、今年度は検査科でも体験を受けてもらいました。

将来、医師・看護師・薬剤師・検査技師になりたいという具体的な目標をもっている生徒さんも多く、体験を通して「将来の夢」に向けて、何らかのお役に立てたと実感できました。また若くフレッシュな中学生の息吹は、職員にとってもいい刺激にもなり、これからもできる限り継続して、地域とのつながりを深めていきたいと思っています。
(看護部長 福田 みゆき)



現場(2階病棟)からのメッセージ

初めての職場体験で、入院中の患者様と接し、最初はとまどいもあったと思いますが、患者さんの目線で話しかけ、傾聴することの大切さを伝えると徐々にコミュニケーションを図る場面が見受けられました。

動けない患者様の入浴介助の際にもナースと一緒に服を着せたり、体位変換を行ったり、髪を乾かしたり積極的に関わっていました。また、一つ一つのケアに対し「これは、何ですか？」と関心を持って取り組んでいました。
(看護師 橋詰 優佳、中尾 衣里)

将来の目標を定めて、体験にこられる生徒さんが半数以上で、とてもしっかりした子達だなと感じました。

実習の終わりに、「やりがいを感じるのはどんな時ですか？」という質問があり、「患者さんが元気で笑顔になる時です。」と答えました。すると感想文に「医療従事者の方は皆、患者さんのことを思ってやりがいを感じているのがすごいと思った。」と書いてあり、それを見たとき、とても自分自身がリフレッシュできた気持ちになりました。
(看護課長 河口 昌子)

協和会病院ご案内

医療法人協和会 協和会病院

吹田市岸部北1丁目24番1号
(代)06-6339-3455

●理事長 / 北川 透
●院長 / 増田 公人

●開院年月日 / 1988年(S63)3月

●診療科目 / 内科、消化器科、整形外科、循環器科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科、皮膚科

●専門外来 / 泌尿器科(月曜日13:00～14:45)
神経内科(木曜日 9:00～11:30)

●診察時間 / 午前診 9:00～12:00(月～土曜日)

※救急医療については、24時間お受けしております。

整形外科 中村先生が 国際学会で 最優秀賞を受賞!



受賞を喜ぶ中村先生(右)

去る2014年6月18～21日にイタリア・ミラノで開かれた第14回 International CAOS meeting (国際コンピュータ支援整形外科手術学会)で、当院整形外科の中村宣雄部長が最優秀臨床プレゼンテーション賞を受賞しました。

10年以上にわたり、当院および大阪大学で行ったコンピュータを用いた人工関節手術の臨床成績やレントゲン評価をされた結果、従来の手術と比べてより良かったという内容を発表され、高い評価を受けられました。

編集後記

昨年末から持ち越していた仕事(広報誌の発行)をひとつ済ませることが出来、新年早々少し肩の荷がおりました。委員共々、新たな気持ちで次号5月初旬の発行に向けて記事内容並びに原稿収集に努める意気込みで年頭から取り組んでおります。

《広報誌委員長：放射線科 北村博司》

病院理念

知・技・心

専門的な知識と
技術の向上を図り
心をこめて

安心の医療を提供します

基本方針

- 1. 「患者様中心」を常に心がけ、満足な医療を提供します
- 1. 患者様の人権を尊重し、公平な医療を提供します
- 1. 急性期から慢性期まで、地域と連携した医療を提供します
- 1. チーム医療を推進し、質の高い医療を提供します
- 1. 人員・設備・環境を整え、安心して安全な医療を提供します